

## 5 新学習指導要領の実施に伴う夏休みの短縮について（9月定例会一般質問）

◇令和2年4月より実施される新学習指導要領については、授業時数が増加するため、夏休みなど長期休業期間の短縮が必要になることなどを、教育長に質問しました。  
 ◇答弁では、増加する年間35時間分、6日程度を、長期休業日を短縮したり、開校記念日に授業を行ったりするなど、授業時数の平準化を図り対応するとの答弁でした。  
 ◇その後、12月23日に教育委員会から通知があり、来年度から、①夏季休業日7/21～8/25②冬季休業日12/25～1/6③開校記念日は授業日に変更となりました。長休みの昼食づくりに苦勞する保護者の皆さんには朗報ではないでしょうか。

## 6 「まるこカード」の導入に伴う市の対応について（9月定例会一般質問）



◇「越谷まるこ WAON」カードをご存じですか。  
 昨年8/23に越谷市とイオン株式会社との間で地域連携協定が締結され、越谷商工会議所は、10/1より地域ポイント事業「まるこポイント」を始めました。これは、「越谷まるこ WAON」カードにて市内加盟店で買い物すると、消費税増税の還元ポイント5%とWAONポイント、加盟店で使える「まるこポイント」が貯まるものです。キャッシュレス時代の市内商業振興の試金石になると考え、市としてどのように取り組んでいくのか市長に質問しました。  
 ◇市としては、「広報こしがや」や市ホームページで事業のPRに努めるほか、商店街活性化に係る助成制度を活用した販売促進を検討しているとの答弁でした。  
 ◇消費税増税をきっかけに広まりつつあるキャッシュレス化を進めるため、国も還元率25%、5000円を上限とするマイナンバーカードを使った「マイナポイント」を今年9月以降に行うことを検討しています。  
 ◇制度周知がなかなか広がらない「まるこカード」ですが、キャッシュレス化の事業展開、引続き、国も市も注目していきたいと思えます。

### 《人口減少に打ち勝つ令和時代の越谷を築く3つの方向》

- ①共働き子育て家庭が子どもを安心して生み育てられる環境づくり
- ②ダブルケア、老々介護を支える高齢者も安心な医療介護福祉のしくみづくり
- ③埼玉県東南部100万人を見据えた未来への投資と基盤整備

### ～大野やすしの3つの主張～

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制づくり

### ～経験から取り組む5施策～

- 1 子ども・教育施策の推進
- 2 まちづくり・経済産業施策の展開
- 3 高齢者・危機管理施策の強化
- 4 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 5 行財政改革の徹底

### 経歴

S38 宮本町生まれ、越ヶ谷小、中央中、越ヶ谷高、明治大学政経学部卒  
 S62～H23 東京都職員（建設、行革、防災等）、元越ヶ谷高校同窓会副会長  
 H23、H27、H31 越谷市議当選3回  
 H30.6～R1.5 越谷市監査委員  
 R1.6～民生常任委員会委員長  
 家族 父、母、妻、3男1女の8人家族

## ○新しく住む人も古くから住む人もともにふるさとと呼べる「マイ・ホームタウン越谷」を目指して!!



越谷市議会議員  
**大野やすし市政報告**

〒343-0806 越谷市宮本町1-9-4-3  
 電話/FAX 048-940-0115 携帯 080-3300-8100  
 アドレス y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp

令和2年1月発行 No.18



HPあります。検索エンジンで **y-ohno.jp** と入力してください。FB(フェイスブック)、ツイッターもよろしくお願いします。



4月 統一地方選挙

令和2年、2020年、あけましておめでとうございます。昨年はラグビーW杯の日本代表の活躍で大いに盛り上がった年となりましたが、一方で台風19号が記録的な被害を日本全国にもたらすなど、豪雨災害の脅威を実感した年になりました。  
 そのような中、4月に統一地方選挙、7月に参議院議員選挙、8月に埼玉県知事選挙、10月には参議院議員の補欠選挙と選挙に追われた年でもありました。  
 私は、4月の越谷市議会選挙で、3,201票の得票を頂き、第7位で3回目の当選を果たしました。ご支援いただいた皆さん、改めてありがとうございました。当選後は越谷市の保守系の統合を目指して、自由民主党越谷市議団に加わり、6月定例会では民生常任委員会委員長に選任されました。9月定例会では一般質問、12月定例会では一般質問をするともに、国に治水対策を求める意見書を自公の連携で議員提出議案として提案し、全会一致で可決成立させることができました。  
 以下に昨年の取り組みの概要を報告します。市民のみなさんが感じる、市政についてのご意見・ご要望、引き続き遠慮なく、私にお聞かせください。

## 1 越谷市産業振興条例の制定及び産業振興計画の策定（12月定例会一般質問概要）



◇「越谷市産業振興ビジョン」が平成22年3月の策定から、概ね10年を経過し、今後の越谷市の産業振興の方向性を改めて検討する必要があります。特に、私は人口減少の時代を迎え、市内中小事業者の縮小、廃業が続いているところから、市内の産業振興について、強い危機感を感じています。そこで、市内事業者を地域活性化のために必要不可欠な存在として位置づけた産業振興条例の制定と新たな長期計画となる産業振興ビジョンと期間3～5年の産業振興計画の策定を提案する質問をしました。

◇その答弁は、荻島地区における産業団地整備の進捗や観光振興計画の策定など市内の新たな取り組みや世界の政治経済の状況変化を踏まえ、現行の産業振興ビジョンの検証や中小企業振興に特化した新たな計画や基本理念等を定めた条例の必要性など、様々な手法やその効果等を含め、（現在検討が進む越谷市全体の）次期総合振興計画の策定に合わせて、その位置づけや新たな方向性の検討を進めるというものでした。  
 ◇今後の越谷市における産業振興について、引き続き注目し、取り組みを促していきます。



## 2 中心市街地の活性化と今後の取組（令和元年12月定例会一般質問概要）

### (1) 中心市街地活性化基本計画のその後の取組について

◇「越谷市中心市街地活性化基本計画」は、令和元年度までの7年間の計画であり、最終年度であるところから、今後の取組について市長に質問したものです。

◇本件計画は、本来、国の認定を前提としたものでしたが、市が申請を見送りました。計画で定めた29の事業のうち、可能なものから順次実施するというものでしたが、道路整備事業や街なか居住事業など、実施されていない事業は多く、残された課題は大きいと考えています。

◇市長としては「まるななマーケット」など、商店街振興で一定の成果があり、さらなる活性化に向けた施策を検討していくとの答弁でした。

◇私は、中心市街地活性化は根本的には居住人口を増やすことが重要だと考えますが、当面は新市庁舎建設に伴う道路事業など関連事業の進捗を促していく考えです。



### (2) 越ヶ谷秋祭りの文化財指定について

◇平成29年3月の代表質問で秩父夜祭などが世界文化遺産に指定されたことを踏まえ、質問したところ、これまでの否定的な見解を変更して指定を検討していくということでした。

◇昨年3年ぶりに秋祭りが開催されたのを機に、今後の見通しを教育長に尋ねたところ、「山車の運行や祭りの運営方法など具体的な材料が得られたので、引き続き調査を進めていきたい」との答弁でした。



### (3) 越ヶ谷宿の歴史的建物の保存活用について

◇越ヶ谷宿の蔵や古民家など、貴重な歴史的建造物については、残念ながら保存できないことも多いところから、教育長には、越ヶ谷宿の蔵や古民家を活用した郷土資料館の設置について質問しました。

◇教育長からは、「蔵や古民家では十分なスペースを確保できないことから利用は難しく、まずは郷土資料館そのものの設置を考えたい。その次に、分館的な位置づけとして蔵や古民家の活用も検討したい」旨の答弁がありました。

◇全国の中核市で、郷土資料館がない市は越谷市だけともいわれており、本市の郷土資料館設置について、改めて強い意欲をもって取り組みたいと考えます。皆さんのご支援ご協力をお願いします。



### (4) 越谷市役所通り線など、市役所新庁舎建設に伴う関連事業の実施について

◇平成29年3月の代表質問で「新庁舎建設は中心市街地活性化に結び付けるべき、越ヶ谷駅前からの県道市役所通り線を県道足立越谷線の東側から市役所まで延伸すべき」との趣旨で質問し、整備促進が効果的と市長の答弁はあったものの、その後新庁舎建設は進んでいるが、本件事業など関連事業が進んでいる気配がないところから再度質問しました。

◇市長からは「市役所通り線の延伸部分については、国庫補助など事業費の確保、道路線形の設定、関係権利者への十分な説明が必要であり、今後検討していく。」「市役所通り線の未着手区間については県と連携して取り組んでいく。」などの答弁がありました。

◇引き続き、新庁舎建設に伴う関連事業が中心市街地活性化に資するよう、取り組んでいきます。

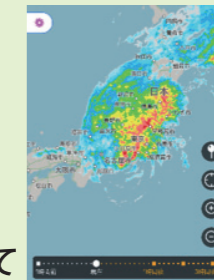
## 3 令和元年台風19号による災害に伴う国へ治水対策を求める意見書

昨年10月12日に上陸した台風19号は、関東甲信越や東北のみならず、広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。越谷市でも、総雨量234ミリという豪雨となり、元荒川三野宮観測所で氾濫危険水位を超え、市内各所で冠水が発生するなど、市民生活に大きな影響をもたらしました。進路が少し変われば、総雨量402ミリを記録し県下一の被害となった平成27年関東・東北豪雨同様、越谷市においても甚大な被害が発生した可能性が高いと考えられます。

このため私は、関東・東北豪雨の時と同様に、関係各者と調整のうえ以下の項目からなる中川・綾瀬川流域の治水対策を求める意見書を作成し、議員提出議案として提案し、全会一致をもって可決成立しました。今後、国・県への要望に活用される予定です。

《治水対策の要望項目》

- 1 河川堤防強化の早期実施について
- 2 中川の早期改修について
- 3 中川合流点の水門等整備着手について
- 4 地下貯留施設建設に対する財政支援について
- 5 綾瀬川までの首都圏放水路建設事業の延伸について



## 4 共働き子育て家庭を支える学童保育について（9月定例会一般質問概要）

◇夏休みなど学校長期休業中の学童保育については、市内の公立保育所が基本的には午前7時半から預かってもらっているにもかかわらず、学童保育室が午前8時からでないで預けられないため、子どもが小学生になった共働きの困難に陥っている問題です。私は平成25年6月定例会から、議会で継続して質問してきました。平成30年夏休みは、試行という形で、市内全て学童保育室で7時半からの預かりが実施され、令和元年夏休みも、学童2,900人中1,149人、39.6%が活用しています。残された課題として、冬休み、春休みにおける早朝預かりの実施について、市長に質問しました。

◇市長からは引き続き調整を進めるという答弁でしたが、12月5日に市から学童保育室利用者に通知があり、今回の冬休みから、夏休み同様試行という形で実施されることになりました。なお、春休みについては、引き続き調整中とのことでした。

◇残された要望は、春休みのみとなりましたが、私は共働き子育て家庭が安心して働きやすい環境を整備していただくことが、越谷が人口減少に打ち勝つ最善の手段だと考えています。同志の皆さん、引き続き、春休みの早朝預かりの実現まで、是非、ご支援ご協力をお願いします。



かあちゃんの夏休み



家族は奇跡